



秋山治夫氏のご祝辞(写真左)を聞き入られる田中理事長ご夫妻。



祝賀
田中健藏理事長
米寿お祝い

11月19日、ホテルニューオータニ博多にて、本学園の理事長である田中健藏先生の米寿をお祝いする会が開かれました。本学園の理事・評議員、教職員をはじめ、関係者約140名が参加し、盛大な祝宴となりました。本学園の理事である大石秀雄氏、福岡県歯科医師会会長 秋山治夫氏、本学同窓会長 宮口巖氏によるご祝辞、田中理事長の88年の歩みを紹介する写真紹介や記念品贈呈などが行われ、盛会のうちに終了しました。

新任教授インタビュー

尾崎正雄 先生

長年の経験を生かして
地域歯科医療に貢献していきたいですね

この度は教授昇任、本当におめでとございます。今の喜びの気持ちを簡単にお聞かせください。

尾崎教授 これもひとえに教授就任までの道のりをご支援いただきました吉田穰、本川涉両名誉教授をはじめ、福岡歯科大学同窓会宮口巖会長や同窓会員の先生方のおかげと深く感謝申し上げます。

私の学生時代は、本当にのんびりした時代でした。軽音楽部(現MA)に所属し、毎日バンド仲間と過ごしたことが懐かしく思い出されます。今の学生さんたちは、本当に勉強するようになると痛感しています。

卒業後は、心理学の研究がたくて小児歯科に入局しました。学生時代に遊んだ欠、毎日12時過ぎまで勉強しました。留学のきっかけは、本川教授に作って頂いたのでありますが、やはり本川教授と夜遅くまで研究した時に話したのがきっかけでした。

このカリフォルニア大学サンフランシスコ校にお世話になりましたが、Braham教授や、Morris教授には大変お世話になりました。今後の抱負は。

尾崎教授 近年、小児う蝕の軽症化に伴い、大学病院に来院される患者様の臨床内容も変化してきております。たとえば、昔はう蝕による拔牙や歯内療法が多かったのですが、最近では不正咬合を主訴とした患者

様や、過剰歯・埋伏歯など外科的処置を目的に紹介で来院される患者様が増加しております。更に現代社会を反映してか、患児や保護者に対する口腔管理も難しくなってきたのが現状です。幸い、私の所属講座の矯正歯科学分野には良くして頂いておりますので、咬合誘導の患者様の相談にも気軽に応じて頂ける体制にあります。このような患者様に対して、長年勉強した心理学や口腔外科手術の経験を生かしながら、口腔管理をしていきたいと思っています。

また、小児歯科専門医の育成や同窓会や歯科医師会との病診連携を重視した診療体系を整え、地域歯科医療に貢献していきたいと考えております。今後とも同窓会の皆様からのご紹介をお願いいたします。また今まで同様、皆様の指導・鞭撻を宜しく願います。

ありがとうございます。今後先生の活躍をお祈りしております。

ありがとうございます。今後先生の活躍をお祈りしております。

ありがとうございます。今後先生の活躍をお祈りしております。

ありがとうございます。今後先生の活躍をお祈りしております。



人事

専門医認定

本学元研究生の江原先生、
日本病理学会口腔病理
専門医に認定

7月28日、本学元研究生の江原道子先生が日本病理学会口腔病理専門医に認定されました。日本病理学会口腔病理専門医とは、歯科医師免許取得後に日本病理学会が認定する研修施設で5年以上病理学研修を行い、所定の研修内容を修了した後、同学会が実施する口腔病理専門医試験(筆記試験、実技試験)に合格し、同学会口腔病理専門医制度運営委員会で審議、認定された歯科医師です。口腔病理専門医は104名(9月1日現在)しかおらず、取得が大変難しい資格です。江原先生の今後益々の御活躍を祈念いたします。



北村学長と喜びの握手を交わす江原先生(写真右)

新任

水田 祥代 客員教授

【略歴】九州大学医学部卒、英国リバプール大学附属小児病院留学。帰国後、九州大学大学院医学研究科修了、九州大学第2外科助手、小児外科講師、福岡市立こども病院小児外科部長、九州大学医学部小児外科学講座助教授、教授、九州大学病院院長、副学長を経て平成22年10月1日福岡歯科大学客員教授に就任。医学博士。大分県出身。

【抱負】全身疾患における口腔医学の重要性は広く認められるようになり、ますます口腔専門医のニーズは高まっています。口腔医学の学問体系の確立と更なる社会的な認知を求めてフロントランナーである本学で勉強させていただき、新しい教育体制の推進に参加させていただきたいと思っております。



昇任

尾崎 正雄 教授 (成育小児歯科学分野)

【略歴】福岡歯科大学卒、米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学。福岡医療短期大学准教授、福岡歯科大学准教授を経て、平成22年11月1日同大学教授に就任。歯学博士。福岡県出身。

【抱負】少子高齢化と、う蝕の軽症化により小児歯科外来に来院される患者様の疾病構造も変化してきました。私たちの小児歯科では、不正咬合や過剰歯、埋伏歯の治療を目的に来院される患者様が増加しています。このような患者様の要望に対応した診療と研究体制を整え、地域医療に貢献できる小児歯科専門医を育てていきたいと考えていますので、皆様のご支援とご鞭撻をお願いいたします。



三輪 邦弘 講師 (画像診断学分野)

【略歴】九州大学歯学部卒。同大学歯学部助手、長崎大学歯学部助手、福岡歯科大学助手を経て平成22年11月1日同大学講師に就任。博士(歯学)。福岡県出身。

【抱負】主観的読像手法のみでは対応できない最新医療画像を患者の有機的病態様相と連結させた定量的組織性状診断法の確立を研究目標に努力します。観察した患部の画像所見から病変の生体物性を考える口腔医学教育を目指します。

